

7月25日

## テーマ：マリヤへのみ告げ

聖書箇所：ルカの福音書1章26節～38節

### ◆今日のみことば

マリヤは言った。「ほんとうに、私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおりこの身になりますように。」こうして御使いは彼女から去って行った。

ルカの福音書1章38節

### ◆メッセージ



ナザレという町に、神さまを信じる信仰深いマリヤさんという少女がいました。ある日、マリヤさんの前に、天使ガブリエルが現れ、マリヤさんが男の赤ちゃんを産むことを告げました。マリヤさんはとっても驚きました。「そんなことは起こるはずがない！不可能だ！」と思ったからです。なぜなら、マリヤさんはまだ結婚していなかったからです。ユダヤの社会では、結婚していないのに赤ちゃんがいることがわかれば、石打ち（死刑）でした。でも、天使は、「その男

の子は救い主だ。」と言いました。救い主を生み育てることは、光栄なことです。戸惑うマリヤさんに、天使はこう答えました。『神にとって不可能なことは一つもありません。』

天使のこの言葉に、マリヤさんはどうしたのでしょうか？ このように答えたのです。「ほんとうに、私は主のはしため（女性の奴隷）です。どうぞ、あなたのおことばどおり、この身になりますように。」これは、マリヤさんが神さまのお言葉に従うことを意味します。マリヤさんは自分の思いではなく、天使から告げられた神さまの言葉を信じ、従ったのです。



私たちはどうでしょうか？ 神さまの言葉（聖書）をどのように受け取っていますか？ みことばをただ読むだけ、聞くだけで終わっていませんか？ 「そんなこと起こるはずがないよ！」「いくら神さまでも、このことはできないでしょ…」などと、決めつけたり、あきらめたりすることはありませんか？ 教会に行くのは嬉しいこと、でも、「教会に行っていることを学校の友だちに知られたら、何と思われるだろう…」と不安になったりするときもあるかもしれません。けれども、神さまは私たちのそのような心もご存知で、「神にとって不可能なことは一つもありません。」と励ましてください。自分の思いや、他の人の声ではなく、マリヤさんのように、神さまを信じ、みことばに従っていきましょう。

### ◆お祈り

「神さま。あなたのみことばに従うことができるように助けてください。イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン。」

(多磨教会伝道所いずみ教会伝道師 瓜生園子)